

授業概要

リベラル・アーツの基本を平易な英語で学習することにより、より高いレベルの英語の運用力を身につけるために、英語の基礎力の強化をはかる。基本的な語彙や表現を理解して覚え、応用できるようにする。また、単に英語力を高めるだけではなく、英語を学びながら教養を深め、多様な分野に関心を持てるように指導する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	Unit 1: 文字と言葉について英語で学ぶ (1) ボキャブラリーチェック・リーディング
第 3 回	Unit 1: 文字と言葉について英語で学ぶ (2) リスニング・オーラルプラクティス
第 4 回	Unit 1: 文字と言葉について英語で学ぶ (3) 確認と復習
第 5 回	Unit 3: 英語の詩を読んでみよう (1) ボキャブラリーチェック・リーディング
第 6 回	Unit 3: 英語の詩を読んでみよう (2) リスニング・オーラルプラクティス
第 7 回	Unit 3: 英語の詩を読んでみよう (3) 確認と復習
第 8 回	まとめと復習
第 9 回	Unit 4: 英語の物語を読んでみよう (1) ボキャブラリーチェック・リーディング
第 10 回	Unit 4: 英語の物語を読んでみよう (2) リスニング・オーラルプラクティス
第 11 回	Unit 4: 英語の物語を読んでみよう (3) 確認と復習
第 12 回	Unit 5: 音楽について英語で学ぶ (1) ボキャブラリーチェック・リーディング
第 13 回	Unit 5: 音楽について英語で学ぶ (2) リスニング・オーラルプラクティス
第 14 回	Unit 5: 音楽について英語で学ぶ (3) 確認と復習
第 15 回	まとめと復習
第 16 回	筆記試験

学習内容、進度は担当教員によって若干異なることがある。

到達目標

リベラル・アーツの基本を学習することによって、英語の総合的な基礎力の再強化をはかる。

履修上の注意

語学力の養成には繰り返しが必要である。語彙、表現を何度もノートに書き、繰り返し発音すること（音声データは出版社のサイトからダウンロードできる）。授業には必ず英和辞典（電子辞書も可）を持参すること。遅刻は受講態度においてマイナスとなる。

予習・復習

知らない語彙、表現は必ず辞書で調べてくること。授業中にとったノートを繰り返し読み、復習すること。

評価方法

予習・復習の有無、随時行う小テスト、課題の提出などを受講態度として点数化し、筆記による定期試験の結果と合わせて評価する。担当教員によって多少の異同がある。

定期試験 70% 受講態度 30%

テキスト

- ・教科書名：『英語で学ぶリベラル・アーツ』
- ・著者名：上村 淳子・アイリーン岩崎
- ・出版社名：朝日出版社